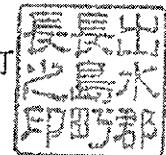


長 総 第 665 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

鹿児島県出水郡長島町
町長 川添 健



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別添のとおり回答いたします。

(連絡先)

長島町役場 総務課
行政係 岩切 豊
電話 0996-86-1111(内)1213

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県長島町

- 1 道路特定財源の厳しい折柄、建設コストや工法を工夫し、費少効大に務めるべきである。
- 2 通勤・通学・通院等、日々の暮らしに利用度が高く、更には物流、観光の面でも活性化が見込まれる地域を優先的に整備してほしい。
- 3 地方の道路整備は十分とはいはず、道路特定財源の一般財源化は見直し、真に必要な道路は「道路特定財源等に関する基本方針」に示されているとおり、着実に建設を促進してほしい。
- 4 道路は生活体系の基本であり、毎日の生活の中で利用することから我慢するものではない。町づくりに夢を描き、観光振興、新たな産業、嫁不足の解消等を図るためにも地方道路の整備促進を是非ともお願いしたい。

②—① 地域の現状と抱える課題

鹿児島県長島町

○現状	○課題
<p>1 日常生活関連道の整備促進をお願いしたい。</p> <p>1)長島一周の中で整備されていない地区がある。 ○ 長島町鷹巣本町地区 ○長島町平尾地区</p> <p>2)合併支援道としての整備促進 ○救急出動時に未整備道路があるため支障を来たしている。</p> <p>3)路線として完成していない道路がある。</p> <p>2 産業との関わりが高い道路の整備促進 1)平尾茅屋線が未整備である。</p> <p>3 町づくりの視点で見た道路づくり 1)ふるさと景観づくり条例を制定し、魅力あるまちづくりの推進 2)石積(花)街道づくり制度の創設 3)石積工法の導入 ①地元材の利用 ②景観づくりへと繋がる。 ③高齢化時代の維持管理 ④地元の雇用拡大策に繋がる。</p>	<p>1)学校、幼稚園、保育園、公的機関(役場・JA・JF等)があるにも関わらず整備が進んでいない。</p> <p>2)救急出動をより効果的に行うために消防分遣所体系の見直しを行ったが、道路整備が進んでいないため支障を来たしている。</p> <p>3)部分的に未改良の部分がある。</p> <p>1)主要産業道路である平尾茅屋線整備に効果の高い事業の導入を費用対効果は大である。</p> <p>1) 景観づくりを進めることは、観光振興や地域づくりに繋がる。本町にとっては必要な取り組みであり、県等の補助事業を検討いただきたい。</p> <p>2)及び3) 本町では、石積みと花の町を推進中で、長島町一周の景観づくりに取り組んでいる。石積みの材料は地元材を活用することによって、地元に有益なものとなる。公共事業が少ない地方が生き延びるための施策のひとつであり、石積み工法等を国としても認めていただきたい。</p>

②—② 地域の目指すべき将来像

鹿児島県長島町

雲仙(長崎県)～天草(熊本県)～長島(鹿児島県)地域高規格道路は本町のみならず多くの自治体にとって有益なものとなる。

- 1 国道3号線、西回り自動車道のバイパス的役割を担う。
- 2 九州西岸軸構想として
 - 1) 海岸観光ルートとしての役割
 - 2) 共有する農業、漁業の一体化(バレイショ、養殖等)
 - 3) 環境保全の共有化
○八代海、有明海の環境保全対策(海水・赤潮・災害等)
- 4) 道州制の促進・・・道州制を見据えた事業
- 5) 産業構成の転換・・・三次産業(観光)へのシフト、観光庁の新設

以上のようなことから、三県架橋は一大動脈となり一次産業のみならず三次産業にも多大な効果を上げることになる。更に地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動で交流人口の促進を図ることができる。

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

鹿児島県長島町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1 積算(工法)に地域の実態を反映させるべき	○長島町では「ふるさと景観条例」を制定し、長島一周を石積と花いっぱい運動に取り組んでいる。フラワースポットづくりには地元産材の石を使用して石積をしている。数多くの効果が見込まれることから、国としても石積工法を認めていただきたいたい。	○石積工法による効果 ① 工事単価が安くなる。 ② 地元材を活用できる。 ③ 業者が所有している材料を有効活用できる。 ④ 地元の石に価値が発生する。 ⑤ 石積と花の町として観光面でも魅力あるまちづくりができる。	
2 公共事業により地域に活力を	○ 都市との交通事情の格差是正 ○ 合併による旧町間の格差解消 ○ 雇用の確保 ○ 高齢化、婦女子に対応した機械化への対応	○地方にとって公共工事は重要な意味合いがある。都市との交通事情の格差是正をはじめ合併町間の格差解消を行い、新しい町づくりをスムーズに進めることができる。	
3 用地取得に対する登記手続きの簡素化を	○道路整備時に用地取得に登記手続きで困難なケースが多く見受けられる。このことが整備の遅れの一因となる。	○用地取得時の登記手続きの簡素化によって道路改良等をスムーズに進めることができ、住民の生活体系の整備促進に繋がる。	